

解剖学・口腔解剖学

《担当者名》○特任教授/入江 一元 irie@ 教授/飯嶋 雅弘 ijijima@ 教授/川島雄介 kawashima-y@
 客員教授/越野 寿 koshino@
 准教授/福永智広 tfukunaga@ 講師/中尾 友也 y-nakao@ 助教/渋井 徹 toru3150@
 助教/高橋 昌己 mtakah01@

【概要】

前半では全身の骨格を学ぶ。後半では、頭蓋の大まかな構造を学ぶとともに、頭蓋の構造と歯科臨床との関係性について演習を通して体験し、専門基礎科目で頭蓋の構造を学ぶ意義を理解する。

【学修目標】

体幹と四肢の関係を概説する。
 脊柱を構成する骨を概説する。
 胸郭を構成する骨を列挙し、連結を概説する
 骨盤の構成を概説する。
 上肢帯、自由上肢の骨を列挙し、その連結を概説する。
 下肢帯、自由下肢の骨を列挙し、その連結を概説する。
 全身の骨の名称を列記する。
 頭蓋を構成する骨を列挙する。
 頭蓋骨の外観でみられる構造を説明する。
 内頭蓋底の構造（孔、突起など）を列挙する。
 外頭蓋底の構造（孔、突起など）を列挙する。
 骨口蓋の構造を説明する。
 下顎骨、顎関節の形態を理解し、咬合器の構造との関連を考察する。
 頭部エックス線規格写真分析の計測点を列挙し、セファロ分析との関連を考察する。
 歯科診療で用いられるCTやエックス線写真でみられる頭蓋の構造について考察する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	解剖学について 解剖学実習について 解剖学・口腔解剖学 について	解剖学・口腔解剖学 で学ぶことについて理解する。 解剖学実習と献体について学ぶ。 解剖学・口腔解剖学（骨学入門）の学習の進め方を理解する。 歯学教育モデル・コア・カリキュラム(PR-01)	入江 一元
2	身体の骨を部位で分類する	体幹と体肢の概念を理解する。 骨格を部位で分ける。 入門解剖学p23-25, 31-81, 解剖ノートp1 歯学教育モデル・コア・カリキュラム(A-3-1-2-1)	入江 一元 渋井 徹 高橋 昌己
3	脊柱と脊髄・脊髄神経	脊柱を構成する骨を理解する。 脊柱と脊髄, 脊髄神経の関係を考える。 入門解剖学p53-60, 解剖ノートp1 歯学教育モデル・コア・カリキュラム(A-3-1-2-1)	入江 一元 渋井 徹 高橋 昌己
4	胸郭と呼吸 骨盤と性差	胸郭を構成する骨を理解する。 胸郭の骨の連結と呼吸の関係を考える。 入門解剖学p61-64, 72-76, 解剖ノートp1 骨盤を構成する骨を理解する。 骨盤の区分を学ぶ。 骨盤の性差を考える。 入門解剖学p61-64, p74-76, 解剖ノートp1 歯学教育モデル・コア・カリキュラム(A-3-1-2-1)	入江 一元 渋井 徹 高橋 昌己
5	上肢の骨	上肢の区分を学ぶ。 上肢帯と自由上肢の骨を学ぶ。 入門解剖学p64-72, 解剖ノートp1 歯学教育モデル・コア・カリキュラム(A-3-1-2-1)	入江 一元 渋井 徹 高橋 昌己
6	下肢の骨	下肢の区分を学ぶ。	入江 一元

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		<p>下肢帯と自由下肢の骨を学ぶ。 上肢と下肢の骨の類似点と相違点を考える。 入門解剖学p72-81 解剖ノートp1 歯学教育モデル・コア・カリキュラム(A-3-1-2-1)</p>	渋井 徹 高橋 昌己
7	頭蓋骨	<p>頭蓋を構成する15種類の骨を学ぶ。 入門解剖学p41-53, 解剖ノートp3-15 歯学教育モデル・コア・カリキュラム (A-3-1-2-1, A-3-2-2)</p>	入江 一元 渋井 徹 高橋 昌己
8	中間試験	<p>第1回から第7回までの授業内容について問う。</p>	入江 一元 渋井 徹 高橋 昌己
9	頭蓋にみられる構造 頭蓋冠の骨の連結	<p>頭蓋の概観 - 前面観、側面観でみられる構造(孔や突起など)の名称を学ぶ。 頭蓋模型で頭蓋にあく孔や突起などの構造を確認する。 頭蓋冠の骨の連結(縫合)の名称を学ぶ。 頭蓋模型で頭蓋冠の縫合がどの骨とどの骨の連結か確認する。 入門解剖学p41-53, 解剖ノートp3-10, p27-30 歯学教育モデル・コア・カリキュラム (PS-01, A-3-1-2-1, A-3-2-2)</p>	入江 一元 渋井 徹 高橋 昌己
10	内頭蓋底	<p>内頭蓋底の構造を学ぶ。 入門解剖学p41-53, 解剖ノートp11-12 歯学教育モデル・コア・カリキュラム (PS-01, A-3-1-2-1, A-3-2-2)</p>	入江 一元 渋井 徹 高橋 昌己
11	外頭蓋底	<p>外頭蓋底の構造を学ぶ。 頭蓋模型で頭蓋底にあく孔が交通する部位を確認する。 入門解剖学p41-53, 解剖ノートp13-14 歯学教育モデル・コア・カリキュラム (PS-01, A-3-1-2-1, A-3-2-2)</p>	入江 一元 渋井 徹 高橋 昌己
12	骨口蓋 下顎骨	<p>骨口蓋の構造を学ぶ。 下顎骨の構造を学ぶ。 頭蓋模型の下顎骨とパノラマX線像でみられる下顎骨の像を比較し、構造を確かめる。 顎の構造と比較し、構造を確かめる。 入門解剖学p41-53, 解剖ノートp31-34 歯学教育モデル・コア・カリキュラム (PS-01, A-3-1-2-1, A-3-2-2,8)</p>	入江 一元 渋井 徹 高橋 昌己
13	顎関節と咬合器	<p>咬合器と頭蓋の構造を比較し、咬合器の成り立ちを学ぶ。 入門解剖学p49-50, 解剖ノートp33-34, p.37-38 歯学教育モデル・コア・カリキュラム (A-3-2-8, D-5-3-1-11)</p>	入江 一元 越野 寿
14	頭蓋とCT,パノラマエックス線写真	<p>これまで学んだ頭蓋の構造がCTやパノラマX線写真でどのようにみられるか確認し、歯科臨床との関連を考える。 歯学教育モデル・コア・カリキュラム (D-2-5-7,9, E-2-5-4)</p>	入江一元 川島 雄介
15	頭部エックス線規格写真と頭蓋骨	<p>セファロ分析の計測点と頭蓋の構造とを比較し、セファロ分析の意義を考察する。 入門解剖学p41-53, 解剖ノートp3-16 歯学教育モデル・コア・カリキュラム (A-3-2-2, D-5-5-2,3)</p>	入江 一元 飯嶋 雅弘 福永 智広 中尾 友也

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

中間試験（30%；筆記試験）と定期試験（60%；筆記試験）課題（10%）で総合的に評価する。
・中間試験，定期試験では教科書、課題プリント、授業プリントに基づいて説明した内容を問う。

【教科書】

「入門人体解剖学」藤田恒夫著 藤田信也改 南江堂（上の表では「入門解剖学」と記す。）
「口腔顎顔面解剖ノート」井出吉信監修 学建書院（上の表では「解剖ノート」と記す。）

【参考書】

「入門人体解剖学」藤田恒夫 著 南江堂
「人体解剖学」藤田恒太郎 著 南江堂
「口腔解剖学」前田健康，阿部伸一，天野修，馬場麻人 編 医歯薬出版

【学修の準備】

教科書を参考に事前に提示する課題（標準60分程度）を行って、授業に臨むこと。
授業後は授業時に出てきた専門用語・解剖学用語をまとめ覚えておく（標準60分程度）。

【ディプロマポリシー（学位授与方針との関連）】

DP1. 安全で質の高い歯科医療を提供するために必要な専門知識に基づく問題解決能力と患者ケアのための診療技能とからなる専門的実践能力、および医療・医学研究の発展のために必要な情報・科学技術の活用能力を身につけている。（専門知識に基づいた問題解決能力、患者ケアのための診療技能、情報・科学技術を生かす能力）
DP2. 「総合的に患者・生活者を支える歯科医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を身につけている。（総合的に患者・生活者をみる姿勢、プロフェッショナリズム、コミュニケーション能力）
DP3. より安全で質の高い歯科医療を実践し社会に適応する医学を創造していくために生涯にわたって自己および他の医療者との研鑽を継続しながら医療者教育と学術・研究活動にも関与できる能力を身につけている。（科学的探究、生涯に渡ってともに学ぶ姿勢）

【実務経験】

入江 一元（歯科医師）、飯嶋 雅弘（歯科医師）、川島雄介（歯科医師）、越野 寿（歯科医師）、
福永智広（歯科医師）、中尾 友也（歯科医師）、渋井 徹（歯科医師）、高橋 昌己（歯科医師）

【実務経験を活かした教育内容】

基礎医学としての解剖学だけでなく、歯科放射線学、歯科矯正学、歯科補綴学などの臨床科目で学ぶ内容と解剖学との関連を重視した教育内容としている。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している